



第397回 6月定例会

一般質問

- | | | |
|---------|-------|---|
| かわしまみな | くごじゅん | し |
| ・河島三奈 | ・久後淳 | 司 |
| ふしわらあきら | ・川名善 | 三 |
| ・藤原章 | ・川名善 | 三 |
| こばやしちづこ | ・高坂純 | 子 |
| ・小林千津子 | ・高坂純 | 子 |
| ひらたまみ | ・加島 | 淳 |
| ・平田真実 | ・加島 | 淳 |

議会傍聴

6月定例会 100人
〔27年度累計 100人〕

6月定例会－主な内容－

- こんなことが決まりました …… 2～3
- 常任委員会の審査報告 …… 3
- 一般質問の発言者 …… 4
- 一般質問の内容について …… 5～8
- 常任委員会研修会の開催等 …… 9
- 行政視察報告(総務文教常任委員会) …… 10
- 行政視察報告(民生地域常任委員会) …… 11
- 議会の動き、9月定例会の傍聴案内 …… 12

6月
定例会

こんなことが決まりました。



6月定例会は、6月1日から6月29日まで29日間開催しました。補正予算及び人事案件などを含む議案4件を原案のとおり、可決・同意しました。

改正された条例

小野市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

黒川西土地区画整理事業に伴い、黒川西公園を都市公園として新設するため。

〔平成27年7月1日施行〕
黒川西公園・小野市黒川町2142番地ほか
面積・1,766.27㎡

主な議案

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

現人権擁護委員 松永進氏、岩崎奈保子氏及び前田さちよ氏の任期が、平成27年9月30日で満了するので、その後任として新たに仲保貢氏、

補正予算関係議案

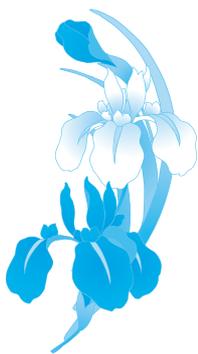
宮永清子氏及び前田さちよ氏（再任）を推薦しようとするもの。

平成27年度小野市一般会計補正予算（第1号）

補正額 21,600千円 追加
補正後総額 19,291,600千円

平成27年度小野市介護保険特別会計補正予算（第1号）

補正額 23,000千円 追加
補正後総額 3,673,000千円



一般会計補正予算の主な内容

今回の補正予算は、全国で初めて条例化された県の自転車保険加入義務化制度の施行に伴い、自転車通学が一般的な中学生を対象に事故等への備えと条例の趣旨を浸透させることを目的とした自転車保険加入交付金を予算化しています。この他に、白雲谷温泉「ゆびか」の昨年度黒字額を積立経費として措置しています。

平成27年度一般会計6月補正予算概要

(単位:千円)

	内 容	担当課	補正額	補正後
追加	白雲谷温泉運営管理基金積立金 白雲谷温泉ゆびかの黒字決算確定に伴う基金積立	観光交流 推進課	20,000	21,900
追加	自転車保険加入助成経費 中学生の自転車保険加入にかかる経費の助成	教育総務課	1,600	1,600

補正総額 21,600千円

常任委員会審査報告

6月定例会の提出議案について、各常任委員会に審査を付託された議案及び審査結果は次のとおりです。

《各常任委員会に付託された議案》

◎総務文教常任委員会◎

議案第28号 平成27年度小野市一般会計補正予算(第1号)

審査の結果、反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決まりました。



◎民生地域常任委員会◎

議案第28号 平成27年度小野市一般会計補正予算(第1号)

議案第29号 平成27年度小野市介護保険特別会計補正予算(第1号)

議案第30号 小野市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

審査の結果、反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決まりました。





ほら夏野菜がたくさんとれたよ! (粟生保育所)

(一般質問は発言した議員が編集しました)

平成27年 6月定例会

市議会HP内の「ビデオライブラリ」からも、議会の様子をご覧ください。

HPアドレス:<http://www.ono-sigikai.jp/>

一般質問発言者

河島 三奈 議員

- ・まちづくりにおける公共交通について
- ・選挙への関心を高めるための取組について
- ・議案第28号 平成27年度小野市一般会計補正予算(第1号)について

久後 淳司 議員

- ・商店街の空き店舗対策について
- ・自転車保険の助成について

藤原 章 議員

- ・福祉施策の充実について
- ・雇用・労働施策について

川名 善三 議員

- ・がん教育について
- ・生活困窮者自立支援法と関連諸制度との連携について

小林 千津子 議員

- ・地域活動シニアサポートモデル事業について
- ・1周年を迎えた防災センターの取組について

高坂 純子 議員

- ・投票率アップの新たな視点について
- ・障がいのある児童のアフタースクールについて

- ・小中一環教育のスタートについて

平田 真実 議員

- ・ソーシャルメディアの活用について
- ・子育て家庭における母親の就労について

加島 淳 議員

- ・マイナンバー制度(社会保障・税番号制度)について
- ・「新都市中央線」と「東播磨道」の進捗状況について





改革クラブ
河島 三奈 議員

神戸電鉄粟生線活性化協議会の今後の活動内容と「らんらんバス」について

答弁 当協議会が組織されてから現在まで粟生線が抱える課題の解決に向けて様々な活性化施策や事業を展開してきた。今年度は粟生線の現状をより広く訴え、愛着を持って頂けるように協議会のホームページを一新させる計画である。沿線3市と新たに加わった兵庫県とも連携しながら運行継続に向けた取組を続けて行く。

らんらんバスについては、本年度2台を増車する予定で、1台は現在のバスと同タイプ、もう1台は少し小型を予定。これまで道が狭く運行できなかったルートの設定、週2日の運行路線を週3回に、また、ゆびか行の増便を検討する。新ダイヤによる運行は、平成28年1月の開始を目指す。
(市当局)

選挙への関心を高めるための取組について

答弁 投票率低下の防止は選挙制度上における課題である。今国会で可決された18歳選挙権の付与に対する取組については、将来の有権者に対する啓発事業を進めて行かなければならないと考えている。選挙管理委員会の職員等が講師として学校等へ出向き選挙の内容について学ぶ出前講座や、模擬投票などの事業を行うことよって、生徒達に有権者としての意識を持ってもらえるようになるのではと考えている。事業を進めるにあたっては市選挙管理委員会だけではなく県や学校等の協力を得ながら行っていきたい。

(選挙管理委員会委員長)

商店街空き店舗対策について

質問 商店街魅力アップ支援事業の状況と課題等について

答弁 平成26年度に実施したこの事業は、小野商店街の空き店舗の利活用促進を目的に、所有者の店舗改修事業に対し、事業費の2分の1、100万円を上限に費用を補助するものである。

昨年度の新規出店希望者は8名で、利用可能な空き店舗2軒において説明会を開催しマッチングを図った。しかし出店希望者側から、利用可能な空き店舗が少ない、新たに開業する魅力ある店舗が、今後増える見込みが薄い、などの理由により契約には至らなかった。

今後の課題は、利用可能な空き店舗を1軒でも多く確保することである。
(市当局)



市民クラブ
久後 淳司 議員

自転車保険の助成について

質問 自転車保険支援制度の継続及び小学生への拡充について

答弁 支援制度の継続については、中学1年生のいる世帯にあっては、市内在住を前提に、3年間の継続した助成を予定している。その後は定着状況や市の財政事情を含め総合的に検討していく。

中学生世帯への公的支援は、自転車通学としていたりことや、部活動・行事等で他校への移動に自転車を利用していることなどを総合的に勘案した結果である。

小学生への拡充については、支援制度の有無に関わらず、自転車保険の加入は県条例で義務化されており、事前の備えを市民の方々が各自で認識頂き行動されることが望ましいと考える。したがって、現時点において拡充は考えていない。
(市当局)



共産党
藤原 章 議員

福祉施策の充実について

質問 生活困窮者自立支援法が施行されたが、市ではどんな事業を、どのように実施しているのか。

答弁 必須事業の「自立相談支援事業」と「住居確保給付金事業」は担当窓口を社会福祉課に置いて、市が直接実施している。(市当局)

質問 生活資金の融資については、どう対応するのか。

答弁 自立支援相談のうえで、社会福祉協議会が所管する「生活福祉資金」で対応する。(市当局)

質問 昨年改正された高齢者や母子家庭に対する小野市福祉医療費助成制度の拡充を求める。

答弁 昨年の改正は県の制度改正に合わせて、医療制度との均衡や、子育て世帯間の不均衡を是正するために行ったもので、現時点では拡充は考えていない。(市当局)

質問 未婚のひとり親については寡婦(夫)控除が適用されず、保育

料、市営住宅家賃など多くの事業で不均衡、不公平がある。「みなし適用」して負担の軽減を図る考えはないか。

答弁 抜本的解決は国が行うべきだが、近年、独自に適用を行う自治体が出てきており、国や近隣市の状況を注視していく。(市当局)

雇用・労働施策について

質問 ブラック企業が社会問題になっている。若い人達は労働基準法などをあまり知らず、不当な労働条件で働いていないか心配だ。市役所に「労働相談窓口」を設けることを提案する。

答弁 現在は市民サービス課の「市民相談窓口」で対応している。新たに設ける考えはない。労働相談は深い知識と専門性が必要になるので、労働基準監督署や、兵庫労働局を利用することをお勧めする。市は広報やホームページで相談先を紹介していく。(市当局)



公明党
川名善三 議員

がん教育について

質問 学習指導要領での位置付けについて

答弁 健康・保健分野の中で、「がん」そのものを主体として取り上げる授業を進めるのではなく、喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の中で、「がん」などの生活習慣病に陥りやすくなる影響などを、児童生徒に理解させるものとなっている。(教育長)

質問 小学校からのがん教育について

答弁 喫煙や受動喫煙が「がん」のリスクを高めるということは、小学校3・4年生の段階でも十分理解できる内容であるので、「親への逆世代間伝達の効果」も含め、できる限り早い学習段階から、命の大切さを総合的に学ぶ学習体制を構築したい。(教育長)

生活困窮者自立支援法と関連諸制度との連携について

質問 生活保護制度との連携について

答弁 生活困窮者が抱える課題は、単に経済的困窮だけではなく、失業や病气、多重債務など、多面に渡る複合的な課題が絡み合っていることが多いことから、この制度を実施する上では、関係する諸制度との連携が不可欠と考えている。生活保護制度の趣旨である、必要な方には確実に保護を実施するという基本的な考え方に基づき、保護が必要であると判断される場合には、福祉事務所の生活保護担当と連携を図り、適切に生活保護につなぐこととしている。(市当局)



市民クラブ

小林千津子議員

地域活動シニアサポートモデル事業について

答弁 公的な制度やサービスではカバーできない課題が潜在化する中、団塊の世代が65歳以上となられ、小野市においても高齢化率が25%を超えた。しかし、多くの方がまだまだ健康であり、これまで第一線で培われてきた知識、経験、技能が退職とともに埋もれてしまうことは大変な損失である。

そこでシニア世代の能力を生かしてさまざまな課題の解決や、地域の活性化を目指す事業を自ら提案いただき、その事業の立ち上げと運営に係る経費の一部を補助しようとするものである。事業は有償で実施していただくことで、継続して自立した取組となることを目標にしている。

募集期間は7月1日から31日まで。広範囲な取組が想定されるが、シニア

世代の英知を結集し、この事業を利用して活躍していただきたい。

(市当局)

台風やゲリラ豪雨等に備えた防災センターの体制と市民への情報発信について

答弁 昨年度は市長を本部長とする災害対策本部を2回、市民安全部長を責任者とした警戒本部を4回設置し、連絡員待機体制は7回あった。気象庁が発表する地震や気象情報を常時確認し、常にタイムリーな情報を自治会を通して市民に発信している。

内容は要援護者の避難・支援の事前準備、ため池の水位調整や地域避難所の確認等をお願いしている。先手、先手で万全の体制で災害に備えている。

(市当局)



市民クラブ

高坂純子議員

投票率の向上について

質問 高齢者等投票所へ行けない方のために、循環らんらんバスやデマンドバスを走らせてはどうか。

答弁 クリアすべき課題が多く、利用は困難である。しかし、高齢者の投票権行使に係る問題については、その対策を研究したい。

(選挙管理委員会委員長)

質問 期日前投票の会場をイオン小野店で行うことはできないか。

答弁 現状では難しい。投票率向上に特化するよりも、主権者教育の必要性、立候補をしやすい環境整備なども大切だと考える。ただ、投票に行きたくても行けない方の対策については検討も必要と思う。(市長)

障がい児童の学童保育について

質問 指導員の加配について問う。

答弁 この度「障がい児の受け入れに関する要領」を定め、対象となる障がい児の状況調査と把握、特別な配慮や支援の要否と、程度の審議や判断等を行い決定した。今後も要領に規定された「障がい児等利用審査会」で審議や判断を行う。

(市当局)

小中一貫教育スタートについて

質問 河合中学校へ通う第六学年に実施したアンケートについて問う。

答弁 内容は「登下校の様子・50分授業・先輩との関係・同級生との関係・クラスの雰囲気」等。いずれの項目にも80%以上の児童が、中学校校舎での生活に満足している回答を得た。しかし、授業や仲間関係で「少し大変」とても「大変」と答えた児童は、個別の相談や支援を繰り返す。アンケートは定期的かつ断続的に実施し、結果等を検証していく。

(教育長)



市民クラブ
平田 真実 議員

ソーシャルメディアの活用について

答弁 現在運用しているフェイスブックページでは、双方向ではなく情報発信のツールとして市政情報やイベント情報などのお知らせや啓発を発信している。フェイスブック以外では、7月から「広報おの」をスマートフォンやタブレットでも無料閲覧できる「i広報誌」サービスを開始。住民参画型アプリについては市民の行政依存が危惧される点も課題とされており、効果的な活用を検証し研究していく。

また、小野市のホームページについては今秋にサイト内検索の機能強化、サイズ自動判別機能やフェイスブックとの連携機能ボタンの追加でリニューアルを予定しており、SNSの情報拡散力を活かし更なる情報発信に努める。

(市当局)

子育て家庭における母親の就業について

答弁 小野市では、病院併設型の病児・病後児保育の開設、パートタイム勤務希望の家庭が保育所を利用できるように就業時間の引き下げ、アフタースクールの開所時間の延長など、育児中の母親が就労しやすい環境づくりに取り組んでおり、今後もニーズに応じて必要な見直しを行う。

また、「創業支援事業計画」により、女性に特化した創業支援事業を盛り込んでおり、女性を対象としたセミナーや交流会、起業に向けた専門的な知識を習得できる創業塾（男女共に対象）も今夏開催する。今後も、小野商工会議所、北播磨市民活動支援センターなどと連携し、女性起業家等への支援を進めたい。

(市当局)



改革クラブ
加島 淳 議員

マイナンバー制度導入について

質問 タイムスケジュールは。

答弁 10月に個人番号通知が郵送で配布される。来年1月から希望者に「個人番号カード」を交付し、利用が開始される予定。

質問 自治体・市民のメリットは。

答弁 市にとっては様々な行政コストの削減に、市民には行政関係の手続きの負担が軽くなり、時間のロスも軽減される。また、28年度からコンビニで住民票、印鑑登録証明書、所得証明書等が交付できるよう準備を進めており、実現すれば全国どこかの店舗でも交付を受けられる。

(市当局)

質問 セキュリティー対策は。

答弁 個人情報処理は外部に接続していない端末で作業している。今後も管理体制に留意して取り組む。

(市当局)

新都市中央線の進捗状況について

答弁 今年度末に橋梁工事は全て完了する。完成年度の28年度は工業団地側の約400m区間、既存道路との取り付けも併せ、道路改良工事を実施する。また、歩道も含め舗装工事を行い路面を仕上げ全線が供用される予定。

(市当局)

東播磨道の進捗状況について

答弁 27年度の業務は引き続き現地の地形測量業務と中心線測量を実施。28年度は現地測量等の成果をもとに道路の予備設計に着手する。

この道路の事業効果は計り知れず、広域医療連携に不可欠の「命の道」として大きな期待をしている。現在、地元から要望が寄せられており、課題をできる限り解消して協力をいただけるよう話し合いに臨む。

(市当局)

常任委員会研修会の開催

市議会では、議員の資質及び議会としての監視機能の向上を図るため、常任委員会等の研修に継続して取り組んでいます。

今回は、7月に実施する総務文教及び民生地域常任委員会行政視察の事前研修として、市関係部局の担当職員から、各施策の現状等についての説明及び質疑を行い、理解を深めました。

民生地域常任委員会

- 1 開催日 6月25日(木)
- 2 研修事項
 - (1) 有害鳥獣対策について
 《担当：地域振興部産業創造課》
 - (2) 農業の6次産業化の支援について
 《担当：地域振興部産業創造課・
 観光交流推進課》



総務文教常任委員会

- 1 開催日 6月25日(木)
- 2 研修事項
 - (1) おの夢と希望の教育について
 《担当：教育委員会学校教育課》



議会運営委員会の開催

6月定例会（会期：6月1日～29日）の議会運営について協議するため、5月25日に議会運営委員会を開催しました。委員会では、議事の日程や市長から提出される議案及び議会に提出された陳情書の取り扱い、今後の議会改革の取組などについて協議を行いました。

このように、議会運営委員会では、次に掲げる事項の調査及び議案、陳情等を審査しています。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ① 定例会等の日程について | ② 議会運営に関する事項について |
| ③ 委員会条例及び会議規則について | ④ 議長の諮問に関する事項について |



総務文教常任委員会行政視察報告

平成27年7月1日(水)～7月3日(金)

①岩手県二戸市

にのへブランド海外発信事業について

二戸市が誇る浄法寺漆や南部美人（日本酒）等、地域特産品を海外（ニューヨーク）でPRすることにより、他の地域、自治体との差別化を図り、「にのへブランド」のイメージ向上を目指す。また、海外での情報発信と販路開拓を展開し海外での評価・実績を日本国内にフィードバックして国内での市場開拓・販路拡大につなげることで、地場産業の振興を図っている。特に在ニューヨーク総領事館で行われた「二戸市レセプション」では、現地レストランのシェフが特別栽培米「いわてっ子」「短角和牛」「南部せんべい」を調理し大好評であった。



②岩手県盛岡市

もりおが復興支援しえあハート村について



基本的な事業は、被災者・被災地自立の支援。ハブコーディネーターとしての役割機能の発揮「つながり」「れんけい」により復興を加速する。

基本理念は、内陸被災者支援・沿岸被災者支援・経済の牽引元気情報の発信。

機能としては、復興支援学生寮、ボランティアの受け入れ、地域に開かれたコミュニティカフェ、復興支援団体のためのシェアオフィス、就労支援施設としてデジタルコンテンツ関連企業・クリエイターに対してのオフィス・作業スペースの提供などさまざまである。特に、進学のために盛岡市に移転してくる大学生・専門学校生に無償で共同住宅を提供している。

③秋田県鹿角市

子供が輝く学校教育の推進について

事業目的は、少子化対策、子育て支援の観点から保護者の経済的負担を軽減するため第3子以降の小学生・中学生・高校生の学校教育にかかる教育費を助成。

また、夢創造事業として公益財団法人日本サッカー協会に委託して、プロ選手による講演で、フェアプレー精神、助け合うことの重要性を教えると共に、夢や目標を持ち生きる態度を養い、後の授業で仲間と協力して課題や目的を達成する充実感や夢や目標を持って生きることの大切さを教え、「夢模索プロジェクト」で美しいふるさとの自然や人々とのふれあいを通じふるさとのよさを体感し、ふるさと学習の充実を図っている。



民生地域常任委員会行政視察報告

平成27年7月8日(水)～7月10日(金)

①山口県下関市

ジビエ有効活用推進事業及び有害鳥獣対策について

合併により市面積(716km²)の3分の2が森林となり、中山間地域などの人口減少・農業従事者の著しい高齢化に伴い、野生獣による農作物被害が深刻化している。市では、有害獣被害を軽減するための基本計画を策定し、下関型ジビエ有効活用モデル(捕獲処理機能+加工販売機能+地域ぐるみの有害鳥獣被害対策機能)として、北部中山間地域に平成25年「みのりの丘ジビエセンター」を設立した。(年間計画処理頭数イノシシ・シカ600頭)

ジビエセンターは、指定管理者が業務を行い、シカソーセージ、イノシシ丼など、低脂肪高たんぱくのヘルシー肉を開発販売している。一方、予防策としては、最近増えてきたサル被害対策として、被害農家にモンキー犬養成訓練を呼びかけ、希望者には半年間の訓練を実施し、サルの追い払い活動を行っている。



②福岡県糸島市

農業農村6次産業化支援事業について



九州大学の新キャンパスが糸島市に移転が進む中、平成22年に糸島市と九州大学との間で、共同で地域開発に取り組む協定書が結ばれた。これを受け、農商工連携研修を行い、柑橘「はるか」を原材料にしたスイーツを開発して農産物直売所での販売、海外での販売機会も得た。また、研修受講生の成果を基礎に、地産地消の広がりを実現すべく、農水産物を使った本格的な6次産業化の取組を開始した。食材の生産活動に専念していた従来の活動範囲を広げて、自ら加工食品の製造・販売まで行うことで所得を上げようとするものだが、加工品の製造部分は、食品加工業者の知見を借りるという農商工連携の良い所を組み合わせている。

③大分県豊後高田市

豊後高田市の昭和の町づくりについて

古くから国東半島の玄関口として300店舗を数える商店街が賑わっていたが、鉄道の廃止、車社会の進展、人口減少により中心市街地は衰退し、町もシャッター通りとなった。平成4年「商業まちづくり委員会」が立ち上がり、数年かけて歴史や街並みの調査を行い、商店街が最も華やかで元気だった「昭和」をまちの個性としてアピールできれば面白いまちづくりができるということにたどり着いた。そして、平成13年9月から昭和30年代をテーマに、

- ① 昭和の建築再生(昭和の街並み景観づくり)
- ② 昭和の歴史再生(店に残るお宝を一店一宝として展示)
- ③ 昭和の商品再生(店自慢の昭和商品を一店一品として販売)
- ④ 昭和の商人再生(お客さんとのふれあい、おもてなしの心づくり)

に取り組み、そのほか町の拠点施設となる「昭和ロマン蔵」の整備、ボンネットバスの導入、観光客を案内するガイドの配置、町全体をマネジメントする豊後高田市観光まちづくり株式会社の設立を行うなどして、平成15年には観光入込客数が20万人を超え、現在も年間35万人前後の観光客で賑わっている。



◎ 議会の動き ◎

【5月】

- 1日 議員初総会
- 〃 議員研修会
- 8日 議員研修会
- 11日 会派代表者会
- 12日 臨時本会議
- 〃 会派代表者会
- 14日 小野市人権教育研究協議会総会
- 16日 特別支援学校運動会
- 17日 青少年補導委員会総会
- 18日 総務文教常任委員協議会
- 〃 民生地域常任委員協議会
- 〃 議員研修会
- 19日 行政視察来市(栃木県大田原市)
- 〃 商店街振興組合総会
- 20日 小野市遺族会総会
- 22日 北播政経懇話会(小野市)
- 23日 小野市シルバー人材センター定期総会
- 〃 小学校運動会
- 25日 議会運営委員会
- 〃 市議会報編集委員会
- 〃 議員互助会役員会
- 26日 兵庫県市議会議長会総会
- 27日 ひまわり会総会
- 〃 小野市観光協会総会
- 28日 小野市農会会長総会
- 30日 小野市保健衛生推進協議会総会
- 31日 加古川広島・室山地区築堤完成式典

【6月】

- 1日 6月定例会(第1日)
- 3日 東播磨消費者団体協議会総会
- 6日 小野市詩歌文学賞・小野市短歌フォーラム
- 12日 小野防犯協会総会
- 16日 小野市都市計画審議会
- 17日 全国市議会議長会(東京)
- 22日 6月定例会(第2日)
- 23日 6月定例会(第3日)
- 24日 小野市産業フェスティバル実行委員会
- 〃 会派研修会(改革クラブ)
- 25日 総務文教常任委員会
- 〃 総務文教常任委員会研修会
- 〃 民生地域常任委員会
- 〃 民生地域常任委員会研修会
- 26日 北播政経懇話会(西脇市)
- 28日 緑駿病院竣工式
- 〃 小野市女性団体連絡協議会総会
- 29日 6月定例会(第4日)
- 〃 議員協議会
- 30日 北播磨総合医療センター企業団議会議員総会

【7月】

- 1日～3日 総務文教常任委員会行政視察(二戸市・盛岡市・鹿角市)
- 2日 加古川改修促進期成同盟会総会
- 〃 東播磨南北道路建設促進期成同盟会総会
- 〃 行政視察来市(山形県鶴岡市)
- 4日 社警察署友の会総会
- 6日 北播衛生事務組合議会議員協議会・臨時会(加東市)
- 〃 退職手当組合議会(神戸市)
- 8日～10日 民生地域常任委員会行政視察(下関市・糸島市・豊後高田市)
- 9日 全国市議会議長会基地協議会理事会(東京)
- 〃 小野市交通安全対策委員会総会
- 〃 北播磨こども発達支援センター事務組合議会議員協議会・臨時会
- 14日 東播・淡路市議会議長会定例会(淡路市)
- 15日 兵庫県市議会議長会事務局長会(小野市)
- 16日 総務文教常任委員会研修会
- 21日～22日 議会運営委員会行政視察(犬山市・一宮市)
- 23日 市議会報編集委員会
- 24日 兵庫県市議会議長会総会(小野市)
- 27日～28日 市民クラブ・公明党行政視察(沖縄県糸満市・名護市)
- 28日～30日 改革クラブ行政視察(千葉県木更津市・南房総市・鴨川市)
- 29日 国民健康保険運営協議会
- 31日 北播政経懇話会(加東市)

ぜひ、傍聴にお越しください

9月定例会は、次の日程で開催いたしますので、ぜひこの機会に、議会の傍聴にお越しください。



9月定例会日程

8月31日(月) 午前10時～	本会議(第1日)
9月17日(木) 午前10時～	本会議(第2日) ※一般質問実施
9月18日(金) 午前10時～	本会議(第3日) ※一般質問実施
9月28日(月) 午後1時30分～	本会議(第4日)

定例会の第2日(17日)、第3日(18日)は、議員の一般質問を行います。

一般質問では、市長から提出された議案や、市政全般について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。なお、一般質問の内容は、質問が行われる日までに市議会ホームページで公開します。

傍聴の手続きは、本会議の当日に本庁舎5階の受付で傍聴者名簿に記入するだけです。なお、傍聴席は34席で、先着順となります。傍聴席が満席の場合は、第2委員会室(傍聴者休憩室)でテレビでの傍聴(ライブ中継)となります。

「託児コーナー」開設します

一般質問が行われる9月17日(木)、18日(金)の午前中は、「託児コーナー」を開設します。就学前のお子さまをお持ちの保護者のみなさまも議会を傍聴していただくことができます。ご希望の方は、9月7日(月)までに議会事務局にお申し込みください。

傍聴者休憩室を開設します

一般質問が行われる2日間は、傍聴の方が休憩していただけるように議場の隣に傍聴者休憩室を開設しています。セルフサービスのお茶も用意していますので、お気軽にご利用ください。

自宅に居ながら議会の傍聴

《市議会LIVE中継実施中》

議会の本会議(定例会・臨時会)が行われているときは、インターネットで生放送がご覧いただけます。また、過去に行われた本会議の録画も同様です。いずれも小野市議会ホームページからご覧ください。

LIVE市議会中継 小野市議会